

企業局情報通信

K-RELEASE

VOL.223

静岡県企業局

● 電話 054-221-2153

● F A X 054-251-5381

発行 令和4年12月26日

大盛況!

ふじのくに CNF 総合展示会3年ぶりの現地開催！！

11月8日(火)富士市のふじさんめっせ大展示場にて「ふじのくにCNF総合展示会」が開催されました。

CNF業界を牽引する95の企業・団体が出展し、ブースでの展示のほか、最先端の技術や製品に関するプレゼンテーション、研究者の先生方による講演が行われました。プレゼンテーション後のブースには商談や意見交換等で人だかりがでる場面も見られ、3年ぶりの現地開催は大盛況のうちに閉会しました。



【写真】ナノセルロースビークル(NCV)

22の大学、研究機関、企業が参画し、CNFを活用したボディーパーツ単体で50%、自動車全体で10%の軽量化に挑戦

講演<CNF 実用化の質的・量的拡大に向けて>

東京大学大学院 農学生命化学研究科

磯貝明 特別教授

「今あるものに置き換われるか」

富士市には多くの製紙関連企業があり、CNFの原料となる木もたくさんあるためCNFを日本で一番安価に製造できる環境である。現在普及している安価な石油由来の素材に置き換わることができるかがCNF普及への鍵となる。

講演<CNF はカーボン・ニュートラル・フロンティア>

京都大学 生存圏研究所

矢野浩之 教授

「植物を未来の資源に変える」

植物由来で環境負荷の少ないCNFは化粧品やインクへの添加など着実に普及してきている。いずれは車の部品や、住宅建材といったボリュームゾーンでの実用化が求められる。脱炭素社会の実現に向けてオープンイノベーションで更なる可能性を追求していきたい。

今さら聞けない CNFってなあに



CNF (セルロースナノファイバー) とは、木材等の繊維を微細化することで得られる新素材です。植物由来であることから生産・廃棄に関する環境負荷が小さく、リサイクル性に優れています。また、重さは鋼鉄の5分の1で、強度は5倍以上、熱を加えてもほとんど膨張しないといった優れた特長を有し、自動車、食品、医療など様々な産業分野への用途展開が期待されています。

製紙産業が盛んな静岡県ではCNFにいち早く着目し、現在は県経済産業部を中心にCNFの活用、普及に向けた様々な支援を行っています。

持続可能な社会の実現に向けたカーボンニュートラルへの取組等、全世界的な環境問題への意識の高まりはCNF業界への追い風となっており、今年度は富士工業技術支援センター内に「富士市CNF連携拠点」が設置されるなど、CNFの研究開発や製品の普及は本県を中心として今後さらに加速していくものと考えられます。

令和3年度決算の概要

損益計算書【P/L】（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

(単位：百万円、税抜き)

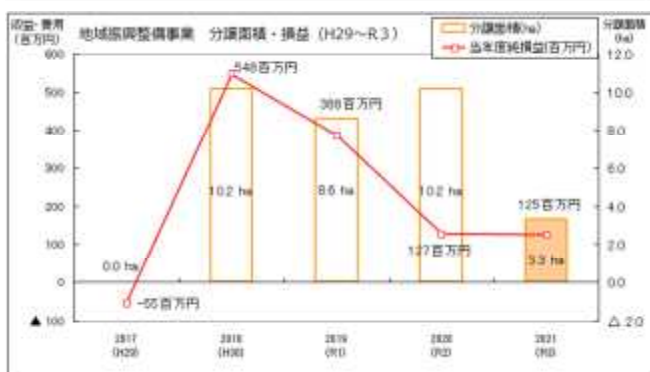
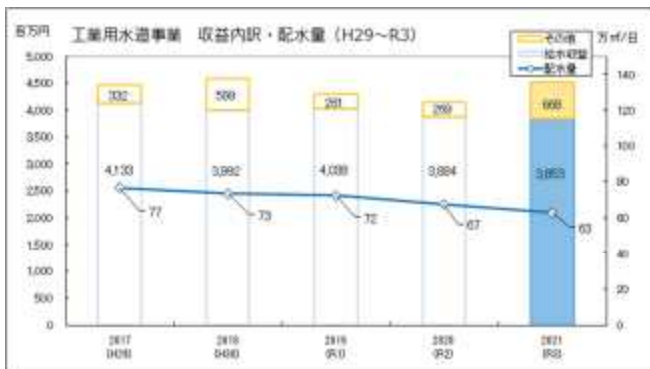
	工業用水道事業	水道事業	地域振興整備事業
営業収益	3,957	5,965	3,122
（給水収益）	(3,853)	(5,878)	—
（土地売却収益）	—	—	(3,122)
営業費用	4,063	5,200	2,986
営業利益	▲ 106	765	136
営業外収益	182	531	1
営業外費用	107	242	61
経常利益	▲ 31	1,054	76
特別利益	382	0	49
特別損失	1	0	0
当年度純利益	350	1,054	125

当年度純利益の活用先

- ・ **工業用水道事業・水道事業**
施設整備のために借りた借入金(企業債)の返済や将来の施設更新費用に使用します。
- ・ **地域振興整備事業**
繰越欠損金を補てんし、新たな用地開発に向けた先行投資に使用します。

(注) 各事業会計は独立しているため、各事業の損益が他の事業に影響を与えることはありません。

5年間（H29～R3）の営業状況



工業用水道事業会計のポイント

- ☑ R3 給水収益は R2 からほぼ横ばい
- ☑ R3 その他収益は遊休地売却による特別利益によって大幅増
- ☑ 給水収益及び配水量は長期的に減少傾向にあるため、コスト削減等に取り組んでいます

水道事業会計のポイント

- ☑ 市町に供給した水道用水の配水量はほぼ横ばいで推移
- ☑ 過去5年間の収益も横ばいで推移
- ☑ 将来にわたって安定的に給水するため、コスト削減に取り組みながら施設・管路の更新をしていきます

地域振興整備事業会計のポイント

- ☑ R3 は 3.3ha を分譲し、1 億 2,500 万円の黒字
- ☑ 他の工業団地への先行投資に使用する費用が発生するため、赤字になる年度があります
- ☑ 工業団地毎の損益が黒字になるように経営しています

貸借対照表【B/S】（令和4年3月31日）

（単位：百万円、税抜き）

	工業用水道事業	水道事業	地域振興整備事業
固定資産	42,480	67,345	2
うち構築物	(23,956)	(38,010)	—
開発整備資産	—	—	1,385
流動資産	5,392	7,326	8,099
うち現金預金	(4,600)	(6,612)	(8,099)
資産合計	47,872	74,671	9,486
固定負債	10,691	13,455	151
流動負債	1,491	1,461	1,911
繰延収益(負債)	4,376	13,119	—
資本	31,314	46,636	7,424
負債・資本合計	47,872	74,671	9,486

企業局 B/S の特徴

・工業用水道事業・水道事業

水を供給するための管路（構築物）や機械設備を所有するため、固定資産の割合が大きくなっています。

・地域振興整備事業

造成中の団地は開発整備資産に計上されています。企業等からの前受金と自己資金で事業を行うため、借入は行っていません。

（注）繰延収益とは、国庫補助金等の交付を受けて固定資産を取得・改良した場合に、補助金相当額を会計上負債に整理したものです。現金支出を伴う金銭債務ではありません。

実践！令和3年度コスト削減の取組



更生材（青色）挿入
手前：既設管



既設管の内面に更生材で、
自立耐震管に形成

工業用水道事業

○自立型管更生工法を静岡工業用水道で実践！

- ☑ 既設管内に樹脂の更生材を挿入し硬化させ新管を築造
- ☑ 既設管を撤去せず延命化して有効活用

➡従来工法比 **60%更新費用削減▲2,300万円**

➡**工事期間の短縮 ▲1か月**



水道事業～電気設備の全面更新～

○工事と保守点検をセットにして高品質な施工でコスト削減！～ビルドメンテナンス契約～

- ☑ 保守点検業務 15年分をセットにして発注することで諸経費を削減

➡**15年間で1,000万円の削減が可能に！**



地域振興整備事業～藤枝高田工業団地～

- ☑ ICT 施工(3次元の測量・設計データの活用)による現場監理コスト削減
- ☑ 用地処理や確定測量における独自の工夫でコスト削減

➡**造成コスト約2億3千万円の削減！**

➡**創意工夫により最大5か月前倒しで引渡しを実現！**

他にも企業局では創意工夫・コスト削減に取り組んでいます！

「創意工夫・コスト削減事例集（ノウハウ集）」としてまとめてありますので、ぜひ下記 URL からご覧ください！

「企業局 HP」 > 「創意工夫・コスト削減事例集（ノウハウ集）」
<<https://www.pref.shizuoka.jp/kigyou/jireisyuu.html>>



水道事業の業務状況(令和4年11月25日現在)

11月の使用水量は、前年度同期比で、榛南水道は100.6%と増加し、駿豆水道は88.3%、遠州水道は98.1%と減少し、全体では97.0%となっています。

(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			11月分	累計	11月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,100	24,500	752	6,582	26.9
	前年度同期	100	3,100	24,500	852	6,830	27.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	88.3	96.4	
榛南	当該年度	27	837	6,615	454	3,554	53.7
	前年度同期	27	837	6,615	451	3,602	54.5
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.6	98.7	
遠州	当該年度	292	9,055	71,565	5,225	40,502	56.6
	前年度同期	292	9,055	71,565	5,327	40,473	56.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.1	100.1	
合計	当該年度	419	12,992	102,680	6,431	50,638	49.3
	前年度同期	419	12,992	102,680	6,630	50,905	49.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.0	99.5	

工業用水道事業の業務状況(令和4年11月25日現在)

11月の使用水量は、前年度同期比でふじさん工水(富士川)は100.6%、静清工水は100.9%と増加し、柿田川工水は93.6%、ふじさん工水(東駿河湾)は95.9%、中遠工水は98.5%、西遠工水は96.6%、湖西工水は96.0%と減少し、全体では96.2%となっています。

(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			11月分	累計	11月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,100	24,500	2,683	23,050	94.1
	前年度同期	100	3,100	24,500	2,868	23,556	96.1
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	93.6	97.9	
ふじさん (富士川)	当該年度	25	769	6,102	669	5,044	82.7
	前年度同期	27	835	6,630	665	5,008	75.5
	前年度同期比	92.0	92.0	92.0	100.6	100.7	
ふじさん (東駿河湾)	当該年度	301	9,323	74,617	7,338	58,362	78.2
	前年度同期	361	11,191	88,810	7,651	60,140	67.7
	前年度同期比	83.3	83.3	84.0	95.9	97.0	
静清	当該年度	50	1,517	12,190	1,158	8,947	73.4
	前年度同期	51	1,544	12,364	1,148	8,662	70.1
	前年度同期比	98.2	98.3	98.6	100.9	103.3	
中遠	当該年度	33	1,030	8,246	387	3,149	38.2
	前年度同期	34	1,051	8,328	392	3,292	39.5
	前年度同期比	98.0	98.0	99.0	98.5	95.7	
西遠	当該年度	29	889	7,206	610	4,842	67.2
	前年度同期	29	894	7,221	632	5,034	69.7
	前年度同期比	99.5	99.5	99.8	96.6	96.2	
湖西	当該年度	17	497	3,972	287	2,349	59.1
	前年度同期	17	497	3,972	299	2,442	61.5
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	96.0	96.2	
合計	当該年度	555	17,125	136,833	13,132	105,743	77.3
	前年度同期	619	19,112	151,825	13,655	108,134	71.2
	前年度同期比	89.6	89.6	90.1	96.2	97.8	